

令和4年度職員採用試験（第2回社会人経験者）
総合土木 専門記述試験（4.10.16）

次の2つの課題のうち、いずれか1つの課題について答えなさい。

＝ 課 題 1 ＝

○インフラマネジメントの推進について

近年、平成30年7月豪雨災害をはじめとする異常気象による大規模災害が全国的に頻発していること、また、県内人口の減少や少子化・高齢化の進行、AI/IoTなどデジタル技術の進展と普及など、急速に進む社会情勢の変化に加えて、新型コロナウイルス危機がもたらした日常生活や経済活動の変容も踏まえ、防災・減災対策やまちづくりなどに、より一層スピード感を持って取り組んでいく必要がある。

このように、変化が激しい社会情勢が見込まれる中、本県では、今後10年間の社会資本分野の基本方針として、新たな「社会資本未来プラン」を令和3年3月に策定し、新たな課題に対応した効果的かつ効率的なインフラマネジメントを推進するために、次の5つの施策に取り組んでいる。

- ① 安全・安心を支える総合的な県土の強靱化
- ② 交流・連携を支えるネットワークの充実・強化
- ③ 魅力的で持続可能な社会を支える基盤形成
- ④ 社会資本の適切な維持管理の推進
- ⑤ デジタルトランスフォーメーションの推進

そこで、これらの施策のうち2つを選択し、その施策を展開するための具体的な取組内容について、あなたの考えを述べなさい。

※ 課題1を解答する場合は、選択した2つの施策（①～⑤）を標題として記載してください。

（解答の記載例：②と④を選択した場合）

課題 [インフラマネジメントの推進について]

②交流・連携を支えるネットワークの充実・強化

④社会資本の適切な維持管理の推進

＝ 課 題 2 ＝

○今後の持続可能な農業を実現するための農業生産基盤の整備について

広島県では、次世代を担う農業者が、生産性の高い農地を有効に活用しながら地域との連携による継続的な生産活動を通じて、農地や農業用施設が有する公益的機能が持続的に発揮されている状況があるべき姿としており、現在、農村の過疎化、農業従事者の減少と高齢化、耕作放棄地などの課題を抱えている。

これらの課題に対して、広島県では、スマート農業技術などが活用可能となる農地の整備、土地改良施設の老朽化に伴う突発事故の対応や近年の豪雨災害等に対する防災減災対策などを行っているところである。

このような状況を踏まえ、広島県において持続可能な農業を実現するためには、どのような農業生産基盤の整備を行えばよいか、あなたの考えを具体的に述べなさい。